

東日本大震災 関連情報（第30報）

平成24年5月17日
全国老人クラブ連合会

●東日本大震災に関する、老人クラブ関連の情報をお伝えします

○ 原発避難地域における町村老連の状況 [福島県 双葉地方老人クラブ連絡協議会]

5月10日、多くの地域が警戒区域に指定されている双葉地方において、震災後2回目の総会が開催されました。双葉地方（郡）に所属する8町村老連（広野町、楢葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村）から35人が、交通の便の良い郡山市に集まりました。避難先から集まるため経費がかかりますが、救援拠金が活かされています（別紙 避難町村行政移転先参照）。

各町村から報告された被災地クラブの状況を別紙で報告します。

（別紙「福島県双葉地方 各町村老連の状況」参照）



※なお、第1回目の総会は昨年9月29日に同じ郡山市で行い、役員改選と地方老連活動の一時停止を決めました。

●支援活動

○ こいのぼりを被災地へ届ける [岡山県倉敷市 真備地区老連女性部]

3月にお雛様を作り届けた真備地区老連女性部では、5月の子どもの日に向けてこいのぼりも届けました。今回は、地元の真備小学校の子どもたちと一緒に作り、小学校がもともと縁のあった、岩手県大槌町 赤浜小学校へ届けました。



島県双葉地方 各町村老連の状況

双葉地方老人クラブ連絡協議会 総会（5月10日開催）にて

- 【広野町】** 発表者・二瓶副会長 「帰還できたらさらに多彩な活動を再開したい」
- 23年度 9月 理事会・女性部長合同会議。 県高齢者芸能発表大会参加
- 10月 いわき市老連スポーツ大会に招待される
地元幼稚園との交流、シルバーグラウンドゴルフ交流会
- 11月 各仮設住宅単位で芋煮交流会
高齢者交流会カラオケ会、県高齢者福祉大会参加
- 12月 いわき市四倉地区老連との合同スポーツ大会開催
- 1月 広野小学校1～2年生との昔遊び
- 2月 第2回理事会・女性部長合同会議
- 24年度 往復はがきにより会員の現況調査中（5月10日現在回収率50%）

- 【檜葉町】** 発表者・永山会長
- 23年度 8月 役員会、いわき市老連との交流会
- 9月 町敬老会、県高齢者芸能発表大会に29名参加
- 10月 いわき市老連からスポーツ大会に招待される
- 11月 いわき市在住役員が会津美里町会員を訪れ、再会を喜び合う
- 1月～生きがい教室〔民舞、カラオケ、ダンス、グラウンドゴルフ（G）、ゲートボール〕を再開
- 24年度 生きがい教室の継続実施。県高齢者芸能大会に代表者派遣予定

- 【富岡町】** 発表者・豊田副会長
- 現状 借り上げ住宅と仮設住宅に住む会員に温度差がある
借り上げ住宅に住む自分は、地元クラブに一時的に加わっている、
お世話になるいわき市で、やれることをできる範囲で行っている。

- 【川内村】** 発表者・秋元会長
- 23年度 活動休止
- 〔村は3月26日に帰還宣言し、役場等も業務再開。村民700名が帰還〕
3月からこれまでに3回役員会を実施し、今後の活動を話し合った。
- 24年度 5月 村老連総会開催。
190名の会員（約50%）が村に戻った。

- 【大熊町】** 発表者・半杭会長 「出来ることから始めたい」
- 現状 23年度20クラブ、24年度19クラブ 会員名簿の作成ほぼ完了
- 単位会長の所在 会津若松市11名（定例会議実施）、いわき市3名、

県内1名、県外2名、所在不明が2クラブ

23年度 11月会津若松市内で町老連総会、GGに80名参加

会津若松市老連からスポーツ大会、GG、レクダンス等に誘われ参加
元気袋について

- ・単位会長が3回集まって作業し、所在が判明した全会員に、町老連会長のメッセージ（別紙）を添えて送った。
- ・元気袋を贈ってくれた全国各地の仲間の気持ちを会員に伝え、みんなが元気になってほしいとの思いを込めて作業を行った。
- ・お礼の電話がきた。自分のクラブの会員からはお礼の千羽鶴も感謝のしるしに送られてきた。千羽鶴は、市内5か所の仮設住宅集会所に飾った。また仮設住宅内の高齢者への友愛訪問で少しずつ配り、まごころの「おすそわけ」をした。

24年度 役員改選だが全役員留任

若手委員が広報活動で活躍、月1回会議で運営内容打合せ

5月GGを会津若松市内で予定、秋はいわき市を予定

ウォーキング大会（鶴ヶ城一周）予定

課題 単位クラブの活動をどのようにしていくか

仮設住宅ごとに仮のクラブを作るか検討したい

【双葉町】 発表者・井上会長

23年度 総会開催、役員改選だったが留任。友愛活動を実施

24年度 引き続き友愛活動を社会福祉協議会等と連携して力を入れたい

6月 町老連総会予定

【葛尾村】 発表者・神谷会長 「閉じこもりを防ぐ活動に力を入れたい」

現状 24年度会員数298名と確定。仮設住宅に仮のクラブを作り活動を計画

村役場と連携し、村広報を活用していろいろな情報を伝えている

23年度 9月役員会にて役員改選。

仮設住宅のある三春町の協力によりGG練習場を借りることができ、クロリティー、GGなど健康づくりを積極的に行った。

5つの専門部会（クロリティー、ダンス、カラオケ、GG、健康マーじゃん）に合計490名参加

24年度 5月村老連総会に180名が集まった

専門部会活動を中心に活動を行いたい。

課題 借り上げ住宅に住む会員（42名）への支援

【浪江町】

ほぼ、全会員の所在が判明

自治会が30ヶ所に分かれている

老人クラブは桑折、福島の仮設住宅に設立された

連合会長はいわき市、副会長は西東京市、福島市に住み、連絡も困難